

AD

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-232361

(13)公開日 平成11年(1999) 8月27日

(51)Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

G 0 6 F 19/00

G 0 7 D 11/00

F I

G 0 6 F 15/30

Z

3 2 0

3 6 0

G 0 7 D 9/00

3 0 1

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 9 頁)

(21)出願番号

特願平10-300039

(22)出願日

平成10年(1998) 2月12日

(71)出願人 000000295

沖電気工業株式会社

東京都港区虎ノ門1丁目7番12号

(72)発明者 湯浅 秀一

東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気

工業株式会社内

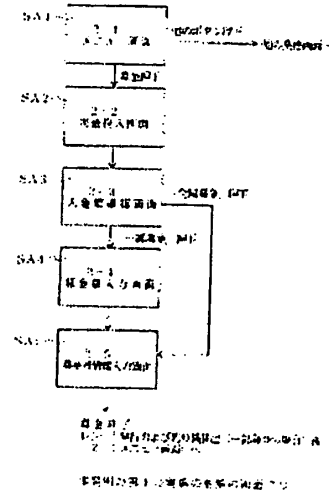
(74)代理人 弁護士 金倉 高二

(54)【発明の名称】 自動募金受付方法

(57)【要約】

【課題】 自動および無人で募金を行う方法、及び募金機会の増加を促す方法を得ることを目的とする。

【構成】 電子的な情報検索および商取引、施設利用料金等の自動清算等を行う自動決済端末装置に、募金受付サービスの選択キーを有するメニュー画面2-1と、募金受付サービスにおいて現金投入画面2-2、入金額表示画面2-3、募金する金額を指定する募金額指定画面2-4及び募金者情報入力画面2-5を前記表示部に表示する機能を付加し、前記自動決済端末装置が、前記メニュー画面2-1で募金受付サービスの選択がある、と、現金の投入を受け付け、金額を計数・格納し、この際に利用者が入金された金額の範囲で募金額の指定を行うことと、利用者の情報として氏名、電話番号等の入力を行うことができ、募金額と利用者の情報を記憶した後、募金者情報、募金額と募金団体名等をシートとして印字・排出し、入金された金額より募金額が下回る場合はその差分を釣り銭として排出する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 操作ガイダンスや操作状態および結果等の画面を表示する表示部と、前記表示部での表示内容に基づいてシステムを操作するために用いられる入力部と、前記入力部による操作に基づく画面の切替え等のシステムの制御を行う制御部と、端末利用者の操作した情報を記憶する記憶部と、現金を格納しておく現金格納部と、金額を計数しながら現金を自動で搬送し、外部と前記現金格納部の間で入金および出金処理を行う現金入出金部と、前記制御部によって指示された情報を印字して排出するレシート発行部によって構成され、電子的な情報検索および商取引や、施設利用料金等の自動清算等を行う自動決済端末装置に、

基金受付サービスの選択キーを有するメニュー画面と、基金受付サービスにおいて現金投入画面、投入額表示画面、基金する金額を指定する基金額指定画面及び基金者情報入力画面を前記表示部に表示する機能を付加し、前記自動決済端末装置が、前記メニュー画面で基金受付サービスの選択があると、現金の投入を受け付け、金額を計数・格納し、この際に利用者が入金された金額の範囲で基金額の指定を行うことと、利用者の情報として氏名、電話番号等の入力を行うことができ、基金額と利用者の情報を記憶した後、基金者情報、基金額と基金団体名等をレシートとして印字・排出し、入金された金額より基金額が下回る場合はその差金を釣り銭として排出することを特徴とした自動基金受付方法。

【請求項 2】 操作ガイダンスや操作状態および結果等の画面を表示する表示部と、前記表示部での表示内容に基づいてシステムを操作するために用いられる入力部と、前記入力部による操作に基づく画面の切替え等のシステムの制御を行う制御部と、端末利用者の操作した情報を記憶する記憶部と、現金を格納しておく現金格納部と、金額を計数しながら現金を自動で搬送し、外部と前記現金格納部の間で入金および出金処理を行う現金入出金部と、クレジットカードを取り込みカードに書き込まれているカードナンバーや有効期限等の情報を読み取るカードリーダと、前記制御部によって指示された情報を印字して排出するレシート発行部によって構成され、電子的な情報検索および商取引や、施設利用料金等の自動清算等を行う自動決済端末装置に、

基金受付サービスの選択キーを有するメニュー画面と、基金受付サービスにおいて基金方法を現金またはクレジットカードを選択する基金方法選択画面、現金投入画面、投入額表示画面、現金による場合に基金する金額を指定する第 1 の基金額指定画面、クレジットカード投入画面、クレジットカードによる場合に基金する金額を指定する第 2 の基金額指定画面及び基金者情報入力画面を前記表示部に表示する機能を付加し、前記自動決済端末装置が、前記メニュー画面で基金受付サービスの選択があると、基金方法として現金またはク

レジットカードを選択でき、現金による場合は、現金の投入を受け付け、金額を計数・格納し、クレジットカードの場合は、クレジットカードの挿入を受け付け、挿入されたクレジットカードの番号チェックおよび取引処理を行い、この際に、利用者が基金する金額の指定を行うことと、利用者の情報として氏名、電話番号等が入力を行うことができ、基金額と利用者の情報を記憶した後、基金者情報、基金額と基金団体名等をレシートとして印字・排出し、現金による基金の場合で入金された金額より基金額が下回る場合はその差金を釣り銭として排出することを特徴とした自動基金受付方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、共同基金等の不特定の人々および金額を対象とした果金業務を自動で行う自動基金受付方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 一般に、不特定多数の人々から一括して基金を集め、集められた基金を社会福祉に利用するといった形式の共同基金の方法として、街頭においてボランティア等の基金活動を行う者が基金箱を持ち、人々に基金を呼びかけて集める場合や、商店等のレジ機に基金箱がおかれ、基金者が自由に現金を基金箱の中に入れることにより集める場合等がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上述した基金方式では、基金を呼びかけたり現金の入った基金箱を管理する人や、集められた現金を計数する作業が必要になるため、これらの作業を行う人件費や労力がかかるという問題があった。また、通常の店舗基金の場合には、不特定多数の人が自由に基金を行うことから、基金を現金の暗付金控帳の対象とするための証拠を得ることができないという問題があった。

【0004】 本発明は、以上の問題点に鑑み、自動および無人で基金を行う方法を得て、基金作業にかかる人件費や労力を大幅に削減することを目的とする。さらに、本発明は、自動および無人で基金を行った基金に対し、現金の暗付金控帳の対象とするための証明を行うことを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するため、本発明は、広範囲に波及可能な端末装置を介して基金を受け付け、受け付けた不特定多数の人の自由な基金の各々に対し、自動的にレシートを発行するようにする。本発明は、広範囲に波及可能な端末装置として、既にショッピングセンタや大型ホテル等に設置され、電子的な情報検索や商取引処理サービスを受け付けている自動決済端末装置（以下、端末）を指す。

【0006】 この種の端末は、操作ガイダンスや操作状態および結果等の画面を表示する表示部と、前記表示内

容に基づき自由にシステムを操作するために用いられる入力部と、前記入力部による操作に基づく画面の切替え等、システム の制御を行う制御部と、現金の入出金を行うことができる現金入出金部と、前記制御部から指示された情報を印字して排出するレシート発行部を備えている。このような端末は、ショッピングセンタ等の人の集まる場所に設置され、不特定の人々が操作し、商取引（買い物）を行うものであり、利用者は端末に表示される商品の中から自由に買いたいものを選択し、商品代金を現金やクレジットカードで支払い、買い物明細（レシート）を受け取る仕組みになっている。また、取引された結果は端末内部または外部記憶装置に保持され、この結果に基づいて商品販売者は代金を受け取り、商品を宅配等により購入者（端末利用者）に渡す。この他にもホテル等で、同様の端末を用いて、画面上に表示される情報に基づいた利用料金の支払い等のフロントでの決済業務を無人で行うサービスも行われている。

【０００７】すなわち、本発明は、操作ガイダンスや操作状態および結果等の画面を表示する表示部と、前記表示部での表示内容に基づいてシステムを操作するために用いられる入力部と、前記入力部による操作に基づく画面の切替え等のシステム の制御を行う制御部と、端末利用者の操作した情報を記憶する記憶部と、現金を格納しておく現金格納部と、金額を計数しながら現金を自動で搬送し、外部と前記現金格納部の間で入金および出金処理を行う現金入出金部と、前記制御部によって指示された情報を印字して排出するレシート発行部によって構成され、電子的な情報検索および商取引や、施設利用料金等の自動決済等を行う自動決済端末装置に、基金受付サービスの選択キーを有するメニュー画面と、基金受付サービスにおける現金投入画面、投入額表示画面、基金する金額を指定する基金額指定画面及び基金者情報入力画面を前記表示部に表示する機能を付加し、この自動決済端末装置が、前記メニュー画面で基金受付サービスの選択があるとき、現金の投入を受け付け、金額を計数・格納し、この際に利用者が入金された金額の範囲で基金額の指定を行うことと、利用者の情報として氏名、電話番号等の入力を行うことができ、基金額と利用者の情報を記憶した後、基金者情報、基金額と基金団体名等をレシートとして印字・排出し、入金された金額より基金額が下回る場合はその差を釣り銭として排出することを特徴とする。

【０００８】さらに、上記構成に加えてクレジットカードを取り込みカードに書き込まれているカードナンバーや有効期限等の情報を読み取るカードリーダを具備する自動決済端末装置に、基金受付サービスの選択キーを有するメニュー画面と、基金受付サービスにおいて基金方法を現金またはクレジットカードを選択する基金方法選択画面、現金投入画面、投入額表示画面、現金による場合に基金する金額を指定する第１の基金額指定画面、ク

レジットカード投入画面、クレジットカードによる場合に基金する金額を指定する第２の基金額指定画面及び基金者情報入力画面を前記表示部に表示する機能を付加し、この自動決済端末装置が、前記メニュー画面で基金受付サービスの選択があるとき、基金方法として現金またはクレジットカードを選択でき、現金による場合は、現金の投入を受け付け、金額を計数・格納し、クレジットカードの場合は、クレジットカードの挿入を受け付け、挿入されたクレジットカードの符号チェックおよび取引処理を行い、この際に、利用者が基金する金額の指定を行うことと、利用者の情報として氏名、電話番号等が入力を行うことができ、基金額と利用者の情報を記憶した後、基金者情報、基金額と基金団体名等をレシートとして印字・排出し、現金による基金の場合で入金された金額より基金額が下回る場合はその差を釣り銭として排出することを特徴とする。

【０００９】

【発明の実施の形態】以下に本発明の実施の形態を説明する。図１は本発明の第１の実施の形態に適用する自動決済端末装置（以下、端末）のハードウェア構成を示すブロック図である。本端末は、操作ガイダンスや操作状態および結果等の画面を表示する表示部１と、前記表示部での表示内容に基づいてシステムを操作するために用いられる入力部２と、前記入力部２による操作に基づく画面の切替え等、システム の制御を行う制御部３と、利用者の操作した情報を記憶する記憶部４と、現金を格納しておく現金格納部５と、金額を計数しながら現金を自動で搬送し、外部と前記現金格納部５との間で入金および出金処理を行う現金入出金部６と、前記制御部３によって指示された情報を印字して排出するレシート発行部７によって構成されている。

【００１０】図２は前記表示部１で表示する画面構成例を示す平面図である。図２において、２－１のメニュー画面（以下、２－１画面とする。）には情報検索や商取引等のボタンと、基金受付サービスの選択キーとしての「基金」ボタンが設けられている。２－２の現金投入画面（以下、２－２画面とする。）には現金の投入方法が表示されている。２－３の入金額表示画面（以下、２－３画面とする。）には入金された現金の金額表示部と、入金額すべてを基金する場合に使用する「全額基金」ボタン９および入金額の一部のみを基金し残りを釣り銭として出金する場合に使用する「一部基金」ボタン１０が設けられ、各ボタンの操作ガイダンスが表示されている。２－４の基金額指定画面（以下、２－４画面とする。）には例えば数字を入力可能なキーボード１１が表示され、数字入力により指定された基金額が表示される。２－５の基金者情報入力画面（以下、２－５画面とする。）には例えば文字や数字を入力可能なキーボード１２が表示され、表示されている操作ガイダンスに応じて文字や数字により入力された氏名や電話番号等が表示

される。

【0011】以下に上記構成の第1の実施の形態の動作を説明する。図3は第1の実施の形態の画面フローである。表示部1は、初期状態として2-1画面を表示する(SA1)。2-1画面において「現金」ボタン9が押されると、画面は2-2画面に変わり(SA2)。現金入出金部6は例えば現金投入口のシャッターが開く等により現金の投入待ちとなる。現金が投入されると、現金入出金部6は投入された現金の自動計数を行う。計数が終了すると、画面は2-3画面に変わり(SA3)。入金額を画面に表示する。ここで「全額現金」ボタン9が押されると、入金された金額が現金額として確定する。

【0012】一方、2-3画面において「一部現金」ボタン10が押されると、画面は2-4画面に変わり(SA4)。入金された金額の範囲で現金額の入力を受け付け、入力された金額が現金額として確定する。現金額が確定すると、画面は2-5画面に変わり(SA5)。例えば氏名や電話番号等の基金者情報の入力待ちとなる。2-5画面において基金者情報の入力が終了すると、入金された現金を現金格納部5に格納し、前記基金者情報および現金額を記憶部4に記憶する。また、基金者情報、現金額と基金団体名等をレシート発行部7において印字し、排出する。さらに、SA3の2-3画面において「一部現金」ボタン10が押され、入金された金額より現金額が下回る場合は、現金格納部5に格納されている現金の中から、現金入出金部6が入金額と現金額の差分を計数し、釣り銭として排出する。以上の動作が終了すると、SA1に戻り2-1画面を表示する。

【0013】図4は本発明の第2の実施の形態に適用する自動決済端末装置(以下、端末)のハードウェア構成を示すブロック図である。本端末は、操作ガイダンスや操作状態および結果等を表示する表示部21と、前記表示部21での表示内容に基づき自由にシステムを操作するために用いられる入力部22と、前記入力部22による操作に基づく画面の切替え、クレジットカードの受信チェックおよび取引処理等、システムの制御を行う制御部23と、利用者の操作した情報を記憶する記憶部24と、現金を格納しておく現金格納部25と、金額を計数しながら現金を自動で搬送し、外部と前記現金格納部25との間で入金および出金処理を行う現金入出金部26と、クレジットカードを取り込みカードに書き込まれているカードナンバーや有効期限等の情報(以下、クレジットカード情報)を読み取るカードリーダ部27と、前記制御部23によって指示された情報を印字して排出するレシート発行部28によって構成されている。

【0014】図5は前記表示部21で表示する画面構成例を示す平面図である。図5において、5-1のメニュー画面(以下、5-1画面とする。)には情報検索や取引等のボタンと、基金受付サービスの選択キーとしての「基金」ボタン29が設けられている。5-2の基金

方法選択画面(以下、5-2画面とする。)には「現金」ボタン30および「クレジットカード」ボタン31が設けられている。5-3の現金投入画面(以下、5-3画面とする。)には現金の投入を促す操作ガイダンスと現金の投入方法が表示されている。5-4の入金額表示画面(以下、5-4画面とする。)には入金された現金の金額表示部と、入金額すべてを基金する場合に使用する「全額現金」ボタン32および入金額の一部のみを基金し残りを釣り銭として出金する場合に使用する「一部現金」ボタン33が設けられ、各ボタンの操作ガイダンスが表示されている。5-5の基金額指定画面A(以下、5-5画面とする。)には例えば数字を入力可能なキーボード34が表示され、数字入力により指定された基金額が表示される。5-6のクレジットカード挿入画面(以下、5-6画面とする。)にはクレジットカードの挿入を促す操作ガイダンスとクレジットカードの挿入方法が表示されている。5-7の基金額指定画面B(以下、5-7画面とする。)には例えば数字を入力可能なキーボード35が表示され、数字入力により指定された基金額が表示される。5-8の基金者情報入力画面(以下、5-8画面とする。)には例えば文字や数字を入力可能なキーボード36が表示され、表示されている操作ガイダンスに応じて文字や数字で入力された氏名や電話番号等が表示されている。

【0015】以下に上記構成の第2の実施の形態の動作を説明する。図6は第2の実施の形態の画面フローである。表示部11は、初期状態として5-1画面を表示する(SB1)。5-1画面において「基金」ボタン29が押されると、画面は5-2画面に変わる(SB2)。5-2画面において「現金」ボタンが押されると、画面は5-3画面に変わり(SB3)。現金入出金部26は例えば現金投入口のシャッターが開く等により現金の投入待ちとなる。現金が投入されると、現金入出金部26は投入された現金の自動計数を行う。計数が終了すると、画面は5-4画面に変わり(SB4)。入金額を画面に表示する。ここで「全額現金」ボタン32が押されると、入金された金額が現金額として確定する。現金額が確定すると、画面は5-5画面に変わり(SB5)。例えば氏名や電話番号等の基金者情報の入力待ちとなる。5-5画面において基金者情報の入力が終了すると、入金された現金を現金格納部25に格納し、前記基金者情報と現金額を記憶部24に記憶する。また、基金者情報、現金額と基金団体名等をレシート発行部28において印字し、排出する。以上の動作が終了すると、SB1に戻り5-1画面を表示する。

【0016】一方、5-4画面において「一部現金」ボタン33が押されると、画面は5-5画面に変わり(SB5)。入金された金額の範囲で現金額の入力を受け付け、入力された金額が現金額として確定する。現金額が確定すると、画面は5-6画面に変わり(SB6)。例

例えば氏名や電話番号等の基金者情報の入力待ちとなる。5-8画面において基金者情報の入力が終わると、入金された現金を現金格納部25に格納し、前記基金者情報および基金額を記憶部24に記憶する。また、基金者情報、基金額と基金団体名等をレシート発行部28において印字し、排出する。さらに、入金された金額より基金額が下回る場合は、現金格納部に格納されている現金の中から、現金出入金部26が入金額と基金額の差を計数し、釣り銭として排出する。以上の動作が終了すると、S81に戻り5-1画面を表示する。

(0017) 一方、S82の5-2画面において「クレジットカード」ボタン31が押されると、画面は5-6画面に変わり(S87)、クレジットカードの挿入待ちとなる。ここで、クレジットカードが挿入されると、画面は5-7画面に変わり(S88)、基金額の入力を受け付けた後、先に挿入されたクレジットカードの号信チェックおよび入力された金額を基金額として取引処理を行う。正常にクレジットカードの取引処理が終了すると、画面は5-8画面に変わり(S89)、例えば氏名や電話番号等の基金者情報の入力待ちとなる。5-8画面において基金者情報の入力が終わると、前記基金者情報と基金額、クレジットカード情報を記憶部24に記憶する。また、基金者情報、クレジットカード情報、基金額と基金団体名等をレシート発行部28において印字し、排出する。以上の動作が終了すると、S81に戻り5-1画面を表示する。

(0018)

【発明の効果】以上詳細に説明した如く、本発明によれば、電子的な情報検索および取引や、施設利用料金等の自動清算等を行う自動決済端末装置に、基金受付サービスの選択キーを有するメニュー画面と、基金受付サービスにおいて現金投入画面、投入額表示画面、基金する金額を指定する基金額指定画面及び基金者情報入力画面を前記表示部に表示する機能を付加し、この自動決済端末装置が、前記メニュー画面で基金受付サービスの選択があると、現金の投入を受け付け、金額を計数・格納し、この際に利用者が入金された金額の範囲で基金額の指定を行うことと、利用者の情報として氏名、電話番号等の入力を行うことができ、基金額と利用者の情報を記憶した後、基金者情報、基金額と基金団体名等をレシートとして印字・排出し、入金された金額より基金額が下回る場合はその差を釣り銭として排出するので、広範囲に波及可能な端末装置を介して基金を受け付け、受け付けた不特定多数の人の自由な基金の各々に対し、自動的にレシートを発行することができる。

(0019) これにより、自動および無人で基金を行うことが可能となり、従来人手で行っていた基金活動や現金の集計業務の自動化により基金作業にかかる人件費や労力を大幅に削減し、より広範囲での基金活動を行うことができるという効果がある。また、現金の取扱業務や

クレジットカード業務について、端末の他の業務と兼用で行うことにより、新たなハードウェアコストや運用コストが軽減できるという効果がある。

(0020) さらに、自動的にレシートを発行するもので、自動および無人で基金を行った基金に対し、現金の寄附金控除の対象とするための証明を行うサービスを提供することができるという効果がある。また、無人及び自動でありながら、入金した現金すべてを基金するだけでなく、釣り銭を出金できるようになっているので、基金しようとする現金を小額で持っていない場合でも、任意の金額の基金が可能となる。これにより、基金機会の増加が期待できるという効果がある。

(0021) さらに、上記構成に加えてクレジットカードを取り込みカードに書き込まれているカードナンバーや有効期限等の情報を読み取るカードリーダを具備する自動決済端末装置に、基金受付サービスにおいて基金方法を現金またはクレジットカードを選択する基金方法選択画面、現金投入画面、投入額表示画面、現金による場合に基金する金額を指定する第1の基金額指定画面、クレジットカード挿入画面、クレジットカードによる場合に基金する金額を指定する第2の基金額指定画面及び基金者情報入力画面を前記表示部に表示する機能を付加し、この自動決済端末装置が、前記メニュー画面で基金受付サービスの選択があると、基金方法として現金またはクレジットカードを選択でき、現金による場合は、現金の投入を受け付け、金額を計数・格納し、クレジットカードの場合は、クレジットカードの挿入を受け付け、挿入されたクレジットカードの号信チェックおよび取引処理を行い、この際に、利用者が基金する金額の指定を行うことと、利用者の情報として氏名、電話番号等が入力を行うことができ、基金額と利用者の情報を記憶した後、基金者情報、基金額と基金団体名等をレシートとして印字・排出し、現金による基金の場合で入金された金額より基金額が下回る場合はその差を釣り銭として排出すれば、クレジットカードでも基金ができるようになる。

(0022) これにより、さらに基金機会の増加が期待できるという効果がある。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の形態に適用する自動決済端末装置を示すブロック図である。

【図2】本発明の第1の実施の形態における表示部の画面構成例を示す平面図である。

【図3】本発明の第1の実施の形態の画面フローである。

【図4】本発明の第2の実施の形態に適用する自動決済端末装置を示すブロック図である。

【図5】本発明の第2の実施の形態における表示部の画面構成例を示す平面図である。

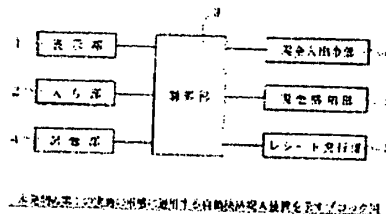
【図6】本発明の第2の実施の形態における画面フローである。

【符号の説明】

- 1 表示部
- 2 入力部
- 3 制御部
- 4 記憶部
- 5 現金持納部
- 6 現金入出金部
- 7 レシート発行部
- 8 「現金」ボタン
- 9 「全額現金」ボタン
- 10 「一部現金」ボタン
- 11, 12 キーボード

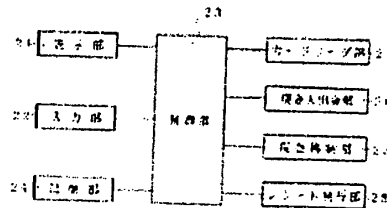
- 21 表示部
- 22 入力部
- 23 制御部
- 24 記憶部
- 25 現金持納部
- 26 現金入出金部
- 27 カードリーダー部
- 28 レシート発行部
- 29 「現金」ボタン
- 30 「現金」ボタン
- 31 「クレジットカード」ボタン
- 32 「全額現金」ボタン
- 33 「一部現金」ボタン
- 34, 35 キーボード

【図1】



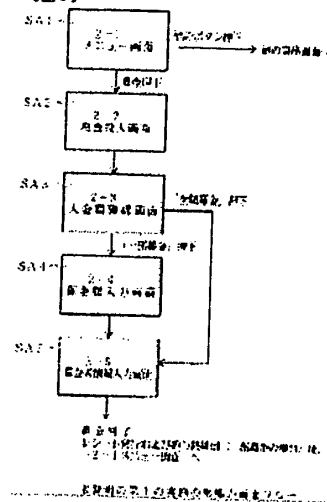
本発明の第1の実施の形態に適用する自動換金装置を意味するコロン

【図4】

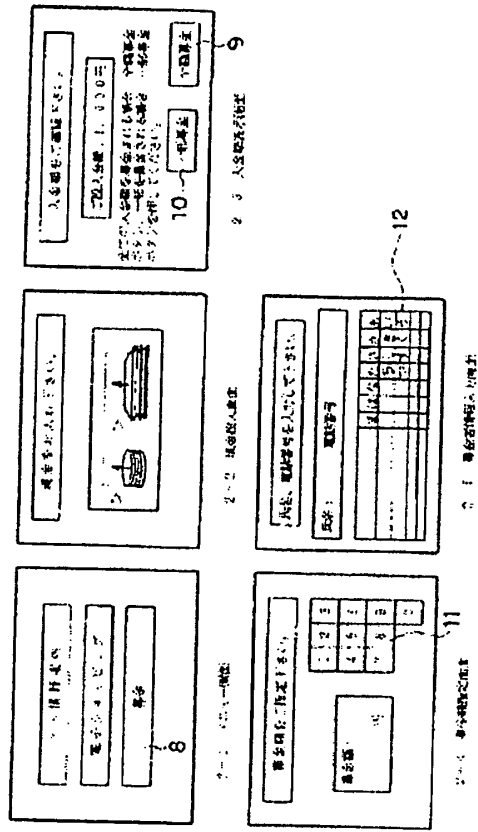


本発明の第2の実施の形態に適用する自動換金装置を意味するコロン

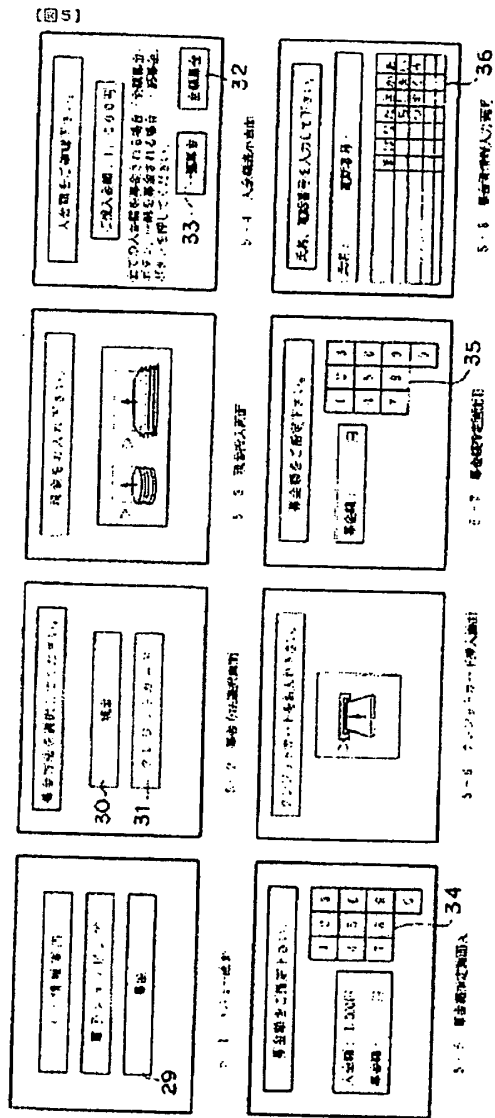
【図3】



【図2】



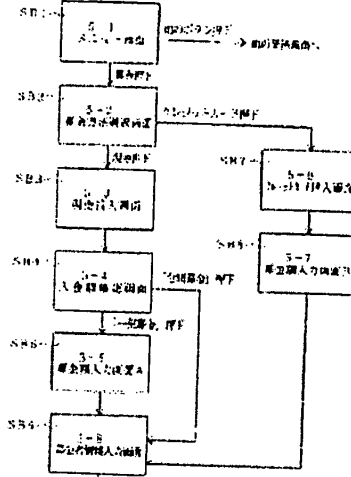
本発明の第1の実施形態における表示部の画面構成例を示す平面図



本発明の第2の実施の形態における表示部の画面構成例を示す平面図



【図5】



本発明の第一の実施形態の構成は、図5に示す通りである。

本発明の第二の実施形態の構成は、図6に示す通りである。

#### Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an unattended method for automatically raising fund and for facilitating increase of fund-raising opportunities.

SOLUTION: This fund-raising reception method adds to an automatic settlement terminal that performs electronic information retrieval, commercial transaction or automatic clearance such as facility utility charges a function to display a menu screen 2-1 having a selection key for fund-raising reception services, a cash charge screen 2-2 in the fund-raising reception services, a deposited price display screen 2-3, an amount of raised money specification screen 2-4 and a contributor information input screen 2-5. When the fund-raising reception services are selected on the menu screen 2-1, the automatic settlement terminal receives charge of cash, counts and stores the amount of money and, in doing this, enables a user to specify the amount of contributed money within a range of the amount of deposited money and to input his name, his telephone number and so on as information on the user. After the amount of contribution and the user information are stored, the information of the contributor, the amount of contribution, a name of a fund-raising group and the like are printed and discharged as a receipt and, when the amount of contribution is below that of the deposited money, the difference between the two is discharged as small changes.

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**